

966/972

ホイールローダ

Next Generation



カタログ写真はオプション品や海外仕様装備品を含む場合があります

	966	972
運転質量	23,247 kg	24,970 kg
エンジン定格出力 (ネット)	219 kW	221 kW
バケット容量	4.4 m ³	4.8 m ³

日本キャタピラー



期待を超えていく、 次世代型マシン。



特定特殊自動車排出ガス
2014年基準適合車



国土交通省
低騒音型建設機械
(972を除く)



2020年燃費基準
100%達成建設機械
(972を除く)



レバーステアリング

誰でも、直感的に、軽々と操作 ▶▶ 車両とレバーの動きが常に一致する、画期的なCat®のEHレバーステアリング

燃費性能

エンジン

▶▶ さらに信頼性を高めた新しいCat® C9.3B ディーゼルエンジンを採用
特定特殊自動車排出ガス2014年基準適合

トランスミッション

▶▶ ロックアップ機構付トランスミッションにより燃費効率を最大化
フルオートマチックなので、シフトチェンジに気を使うことなく運転操作

作業性能

圧倒的作業パフォーマンス ▶▶ 優れた基本性能による作業効率の向上 / パフォーマンスシリーズバケット
ライドコントロール / キックオフ機能 / スナッピング抑制 / 自動変速モード

安全

ゼロ災害へのあくなき挑戦 ▶▶ リモート開放ドア / シートベルト装着表示灯(オプション) / 白色ストロボライト
セカンダリストアリング、360度カメラ標準装備 / 後方障害物検知システム(オプション)



レバーステアリング

直感的に、最少の操作量で、軽々と。

ステアリングレバーの動きに応じて発せられる電気信号がステアリングコントロールバルブを制御し、ステアリングシリンダに油を送り操作するシステムです



- 1 車両とレバーの角度が常に一致
- 2 操作が軽く、精緻な動きを実現
- 3 丸ハンドルに比べて操作量が大幅に少なく、疲労を低減
- 4 レバー操作に対する車両の動き(反応速度)が早くタイムラグなし
- 5 フォースフィードバック(車速感应式)

車両速度に応じて最適な重さに自動で調整し、操作性を安定させます

- 車両速度速い → レバー抵抗大(重い)
- 車両速度遅い → 相対的に軽い

テクノロジー

生産性 **最大10%向上** ↑

ペイロード オートディグ

- ▶▶ リアルタイムで荷重を計量 / Cat®アドバンスドペイロードで作業効率が向上
- ▶▶ 掘削作業を自動化し、作業品質が安定 / 記録モードで熟練オペレータのテクニックを共有
オートセットタイヤでタイヤ摩耗を低減し効率化

オペレータ環境

Next Gen キャブ

- ▶▶ 新しいモニタリングシステム / プッシュ式エンジンスタートボタン / オペレータID
Next Genシート / EH(電子制御油圧式)コントロール / 充実の装備品

メンテナンス

メンテナンスコスト **最大20%低減** ↓

スピード&イージー

- ▶▶ 長寿命オイル・フィルタ / チルトアップ式エンジンフード / スイング式クーリングコア
- ▶▶ リバースファン(オプション) / 自動給脂システム(オプション)
グラウンドレベルメンテナンス

熟成された クラス最高の燃費性能

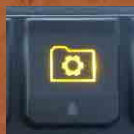


アプリケーションプロフィール

「トラック積込」「走行」等の作業ごとに機械設定の組み合わせが事前登録されており、ボタンを押すことで作業に適した設定に変更することができます

好みに応じてオリジナル登録も可能で、作業の効率化と省燃費につながります

運転席右側の
ボタンで簡単切替



C9.3B ディーゼルエンジン

Cat® C9.3B ディーゼルエンジンは、作業に求められる馬力を十分に確保し、ハイパフォーマンスを発揮します

C9.3Bは燃料システムを更新し、燃料効率を向上させる一方で、EGRシステムを削除することで構成部品を削減し、排気再循環による内部摩耗やオイル劣化を回避することで信頼性をさらに高めています

エンジン定格出力 **219kW**
(ネット: IS09249)
※966の場合



※実際のエンジンとは着色が異なります

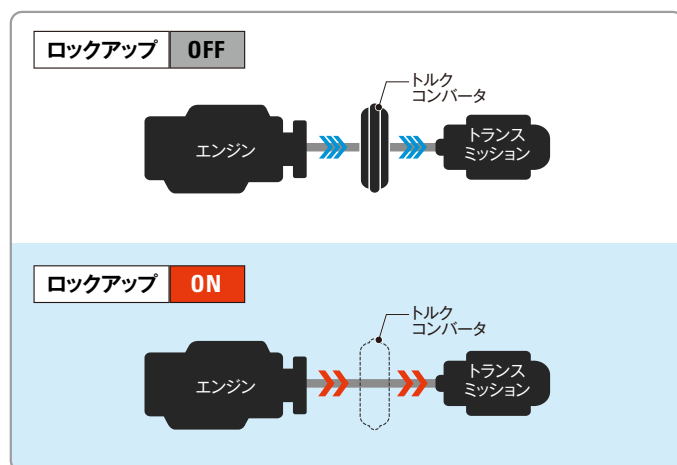


ロックアップ機構付 フルオートマチック4速トランスミッション

フルオートマチックトランスミッションは、作業現場の状況に応じてギアとエンジン回転数を最適化するので、オペレータはシフトチェンジに気を使うことなく作業することができます

ロックアップクラッチ付トルクコンバータは走行中に一定の条件下でクラッチがトルコンの入力側と出力側を接続し、力をトランスミッションに直接伝達（ダイレクトドライブ）する仕組みです

- ロックアップ時は、トルクコンバータでの動力伝達ロスがなくなり、**走行能力と燃費効率が向上**
- ロックアップ及びロックアップの解除は自動で行われ、**オペレータの操作は不要**
- **登坂時の速度を維持**
- **スムーズで滑らかにシフトチェンジ**



Lock to Lock 機能

従来方式のシフティングではシフトアップ時に、一旦トルクコンバータに移行していました
Lock to Lockシフティングではシフトチェンジ後もダイレクトドライブを常に維持するので、**牽引力低下、加速の損失がなく、優れた加速性能、燃費低減性能を発揮できます**

ロックアップの 適用開始速度段を選択可能

ピラーのスイッチを押し、ロックアップが開始される速度段を2速、3速から選択できます

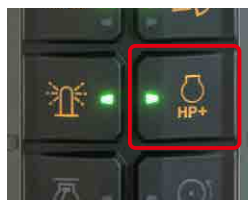


エンジンモード

作業の状況に応じて、2種類のエンジンモードを選択できます
モードの切り替えは、運転席のスイッチによりワンタッチで変更できます

スタンダードモード ランプ無
作業量と省燃費のバランスを重視した高効率モードです

パフォーマンスモード ランプ緑
パワーや作業スピードを優先し、重掘削作業や、急勾配を登坂する際に有効なモードです



オートアイドルストップ機能

オートアイドルストップは、一定時間アイドル状態が継続すると自動的にエンジンをシャットダウンし、無駄な燃料消費を大幅に低減する機能です

経済的なメリットだけでなく、環境への負荷を低減することで社会貢献に大きく寄与することができます

アイドルストップの作動条件として、アイドルストップ継続時間を選択可能（3/5/10/20分から選択）



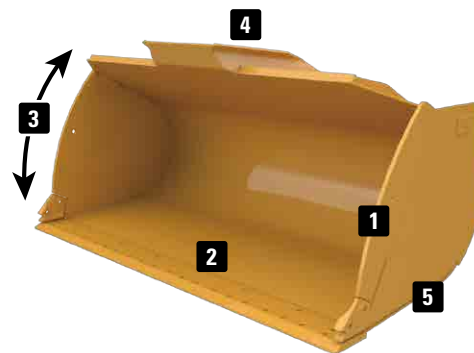
圧倒的 作業パフォーマンス



Cat® パフォーマンスシリーズバケット

特徴的な弓型のサイドバーや広い間口等により、荷が入りやすく、荷こぼれしにくい Cat® オリジナルバケットです

- 1 弓型サイドバー** 荷の保持力が高く、荷こぼれしにくい構造
- 2 長いフロア** 荷がよく入り、マス切り時にも有利な構造
- 3 広い間口** 開口幅が大きく、荷が入りやすい構造
- 4 スピルガード** リンケージ側への荷こぼれを防止し車体も保護
- 5 ウェアプレート** 耐摩耗性が高く、ブルネリ硬度が高い鋼材を使用



大きな常用荷重

より大きな重量の荷を積んで作業できるので作業効率を向上させることができます

7,800kg

※966の場合

最大掘起力(チルト力)

バケットで荷を掘り起こす能力が高く、作業効率を最大限に高めることができます

172kN

※966の場合



キックアウト

あらかじめ設定したリフト(上下)位置、チルトバック・ダンプ角度に作業機を戻せるので、反復作業において作業効率が向上します
キックアウト設定は、キャブ内のボタンで簡単に設定することができます

リフト位置設定の場合

リフト時に設定した高さで停止させることができます



- 1 リフトアームを好みの高さに動かします
- 2 ピラーパネルのボタン長押しします
- 3 「ビピッ」と音がすれば設定が完了

チルトバック位置設定の場合

チルトバック時に設定した角度で停止させることができます



- 1 バケット角度を好みの角度に動かします
- 2 ピラーパネルのボタン長押しします
- 3 「ビピッ」と音がすれば設定が完了



オートライドコントロール

オートライドコントロールは走行速度が一定以上になると、自動で作動し、リフトアームの振動をアクيومレータで吸収することで、走行中の振動を抑制することができます

- 荷こぼれを低減することで生産効率が向上
- 機能のON/OFF切替は運転席のタッチパネルでワンタッチ切替
- ライドコントロールが自動で起動する速度をモニタ画面で設定可



スナッピング抑制 (作業機ショック抑制)

シリンダストロークエンドまたはキックアウト設定位置に近づいたとき、作業機停止のショックを緩和します

設定可能範囲

- リフト上げ、下げ時
- ラックバック(チルトバック)、ダンプ時など
※モニタで有効化



自動変速モード

ボタンを押すごとに設定速度段を変更可能で、変更の都度モニタ画面にポップアップ表示されます
また、現在の設定は運転席ディスプレイで確認可能です

さらに、自動変速モード時の発進時の速度段を設定することができます

手動	全てオペレータが変速操作
2-D	2速以上で自動変速
1-D	1速以上で自動変速
1-3	1~3速の間で自動変速
1-2	1~2速の間で自動変速



ゼロ災害へのあくなき追及

360度カメラ標準装備



周囲の人・モノを一目で把握



リアカメラ画面(フル画面)

ワンタッチでフル画面に切替

車両幅と車両後端からの距離を示すガイド線付き
リアカメラ画面を拡大



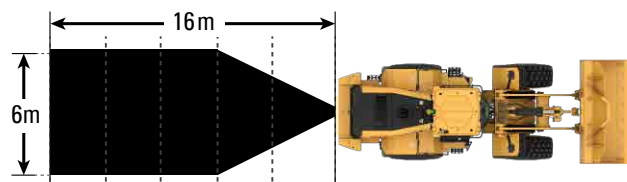
見たい方向のカメラを
ワンタッチで切替

後方障害物検知システム オプション

後進時に車両後方の危険ゾーンに障害物があることをオペレータに知らせるレーダーシステムです

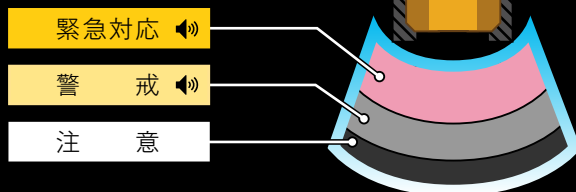


検知範囲



カメラ映像に右画像が表示され、3段階で表示されます

「緊急対応」「警戒」の場合、警報音が鳴り、検知した物体に接近するほど、音の周期が短くなります



熱線入り電動ミラー

熱線入りのミラーなので、結露を防止し、常にクリアな状態を維持できるので、後方を確実に目視できます

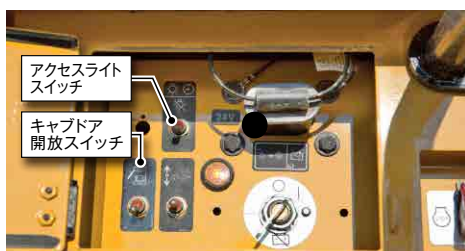
また、キャブ内のスイッチでミラーの角度を変更することができるのでとても便利です



リモートドア開放 & アクセスライト

キャブ下の安全に関連するスイッチ類を集約したサービスセンターにある「キャブドア開放スイッチ」を押すと、キャブに昇る前にキャブドアを開放させることができます

また、アクセスライトスイッチも備えており、夜間も安全です



角度付きラダー

※アクセスライトは車検登録車輛には装着できません

セカンダリステアリング

異常によりステアリングシステムが故障した場合に、自動的に電気式油圧ポンプが作動し、ステアリング機能を維持することができます

セカンダリステアリングが作動した場合は、赤色のアイコンが表示されます



走行速度制限

最高走行速度を設定することで車両速度を制限します

モニタ設定画面で15km/h以上で1km/hピッチで設定できます

現場での安全管理を徹底するのに役立つ機能です



シートベルト装着表示灯/白色ストロボライト



シートベルト装着表示灯 オプション

オペレータがシートベルトを装着している場合は、キャブ上部の緑色LEDが点灯し、外部から装着状況がわかるので現場の安全管理に役立ちます

白色ストロボライト

白色LEDライトが後退時に点滅し、後方に危険を知らせます

転落防止ハンドル&ステップ



キャブの窓ふきなどのメンテナンス作業時につかむことができ、また、安全帯をかけることができるので、転落を未然に防止します



また、ステップがあるので無理な体勢での作業を回避できます

ペイロード

リアルタイムで重量を計量し、 過少積込、過積載を防止

通常の積込作業を行う中で、リアルタイムでバケット内の材料（荷）の重量と、トラックへの積載重量を計量できます

また、トラックへの目標積載重量を設定できるので、目標数量どおりになるように積載することで生産管理をを大幅に強化することができます

※本機能は計量法に準拠しておらず、数値はあくまでも目安となります

1 1～2 杯目



トラックに積み込んだ重量分が
目標トラック積載量から差引かれ、
目標までの残数量を表示

バケット積載量 **9.0t (2杯分)**

目標までの残量 **10.0t → 1.0t**

2 最後の1杯 (3杯目)

チップオフ機能



残数量にピッタリとなるように
バケット内重量をモニタ画面を
見ながら調整できます

バケット積載量 **1.5t → 1.0t**

目標までの残量 **1.0t**

3 ストア (保存) を押し終了

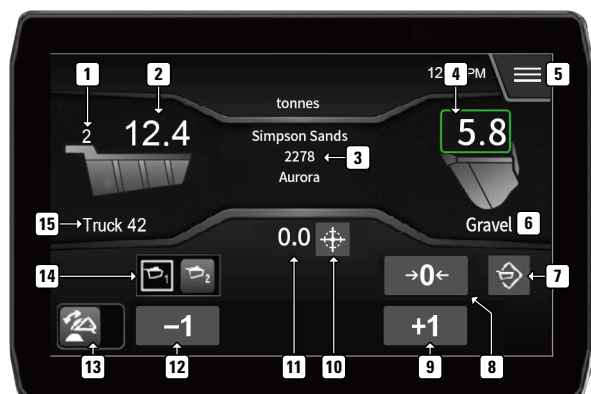


チップオフ機能により、目標トラック
積載量にぴったりの重量を積み
込むことができました

バケット積載量 **1.0t → 0.0t**

目標までの残量 **1.0t → 0.0t**

モニタ画面

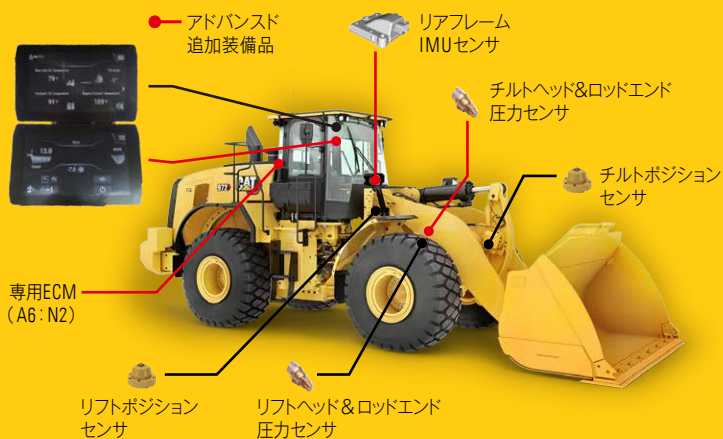


※ **A** はアドバンスドペイロード装着時に有効

- 1 トラック積込台数
- 2 トラック積載量
- A** 3 カスタムID
顧客や現場ごとに積載量データを管理することができます
最大4つのIDを登録可能です
- 4 バケット積載量
- 5 メニュー
- 6 材料ID※
- 7 ストア (保存)
- 8 ゼロ点補正
- 9 マニュアル追加
- 10 目標トラック積載量設定
- 11 目標トラック積載量 (目標までの残量)
- 12 履歴クリア
- 13 チップオフ機能有効/無効
- A** 14 マルチタスク
- 15 トラックID※



※アドバンスドペイロードではトラックID、材料IDのリスト管理が可能 **A**



アドバンスドペイロードでさらに生産管理を強化

各センサ、専用ECM (電子制御モジュール) を追加装備することで「ペイロード」をさらに進化させ、作業効率や計量の精度を向上させることができるので、より高いレベルの生産管理を実現できます

A チップオフアシスト 最後の一杯の微調整作業を容易に

チップオフとは

チップオフ機能は、目標トラック積載量にぴったりと合わせられるように、最後の一杯の材料の量をモニタに表示される数量の変化を見ながら調整できる機能です

チップオフ機能は「トラックモード」と「パイルモード」の2種類に対応しています

チップオフ機能を使った微調整の作業時間は
熟練度により個人差が発生

パイルモード

トラック積載の前にバケットから荷をこぼして荷重を調整



トラックモード

直接、トラックの上で荷をこぼしながら調整する方法



チップオフアシストで作業を半自動化 ※チップオフアシストはパイルモードのみ対応



A マルチタスク管理

2つの作業に分けて重量を記録

1つの作業を「一時保留」し、別の作業を行った後、前回の続きから計量作業を継続することが可能です

具体的には、「作業1」と「作業2」に作業を分けて重量をカウントし管理できる機能です



(左) 作業1ボタン
(右) 作業2ボタン



作業1を実施

途中、作業2を行うことになり、「作業1」を中断し、ボタンを作業2に切り替える



作業2を実施

作業2開始前に「作業2」にボタンを切替えていることを確認



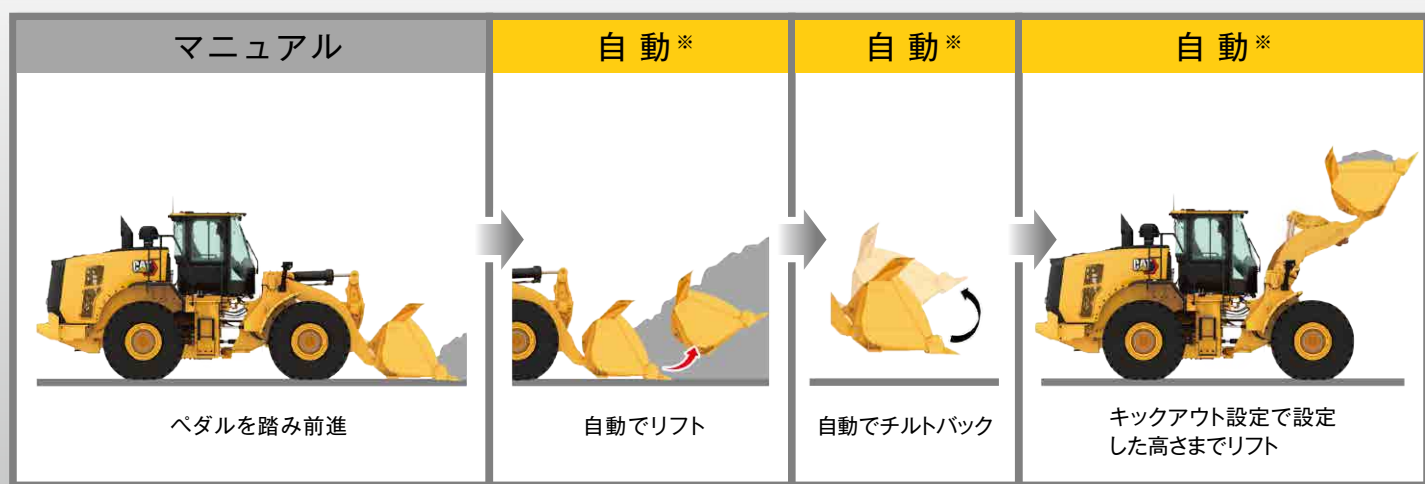
再び作業1を実施

作業1を再開前にボタンを「作業1」に切替

オートディグ

自動掘削機能で作業品質が安定

自動で掘削作業（リフトおよびバケットチルト）を行い、キックアウト設定位置までリフトすることができます。掘削作業を自動化できるので、オペレータの技量に関わらず、作業を安定させることができます。



※アクセルワークはマニュアル操作です

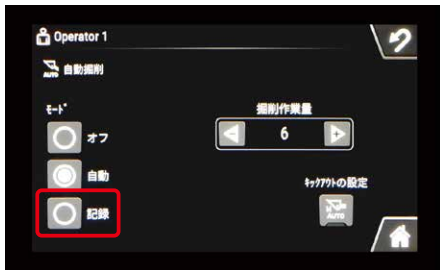


- 1 モード**
機能のオン/オフを選択
オフ：機能をオフ
自動：機能をオン
- 2 掘削作業量**
自動モードで1~6を選択
1：一番負荷が弱い
5：一番負荷が強い
6：記録モード
- 3 キックアウトの設定**
位置を設定し、自動で設定高さまでリフトします

記録モード

掘削作業を共有

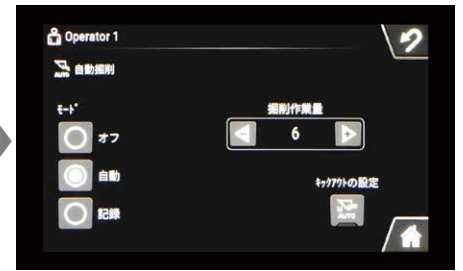
オートディグの記録モードは、掘削サイクルの記録と再生が可能
例えば、熟練オペレータの掘削作業を記録し、経験の浅いオペレータが記録を再生することができます



掘削作業量を「6」に設定すると「モード」に記録が出現



モード「記録」を選択すると「記録/停止」ボタンが出現し、ボタンを押すと記録を開始し、掘削作業終了後ボタンを押すと記録を終了します



モードが「自動」になっていることを確認
材料を検出すると、記録された方法により掘削作業を開始します

オートセットタイヤ

掘削時のタイヤスリップを低減

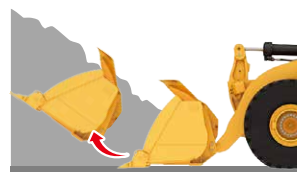
掘削時のタイヤスリップを検知し、自動でリフト上げ操作を行うことで、スリップを回避することでタイヤ摩耗を低減することができます

バケットへの荷が入っていない

チルトバック操作が早過ぎ、リフト操作も行わない等の理由でバケット内に材料(荷)が十分に入らず、タイヤの下向きの力が働いていません



1



バケットへの荷入りを促進

材料(荷山)へのバケットの喰いこみを車両が検知すると、車両がリフト上げ微操作を自動で行いオペレータのチルトバック操作も抑制します

2

タイヤの接地性が向上しスリップを低減

1の自動リフト上げ操作により、タイヤの下向きの力が増し、接地性が向上するためスリップが低減

機能の設定方法も容易

オートセットタイヤは設定も容易です
好みに応じて右の2種類から選択できます

※アプリケーションプロファイルの「オートセットタイヤ」がONになっているプロファイルを選択することで機能を有効化

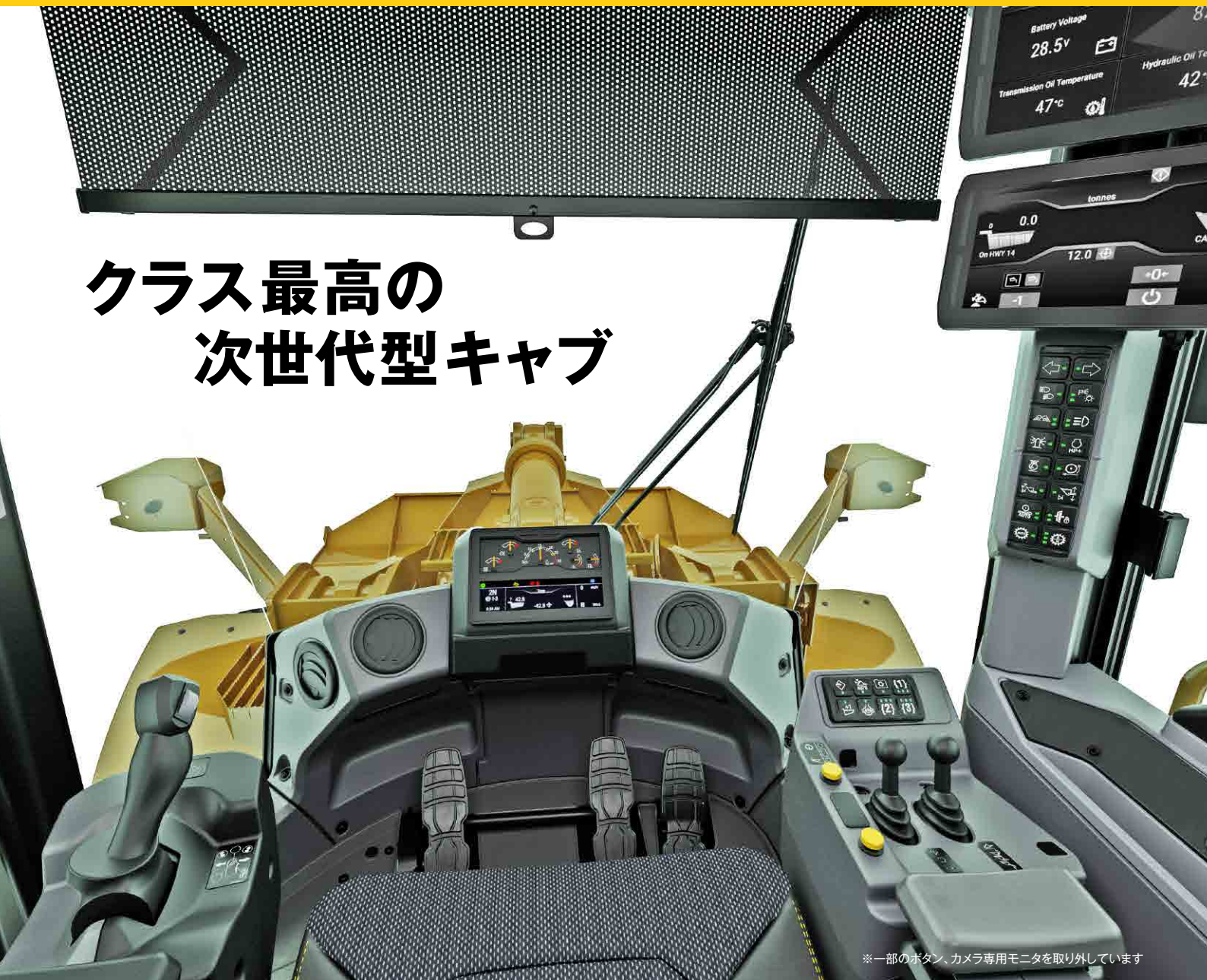


方法① ボタンを押して機能を有効化*



方法② モニタで機能を有効化

クラス最高の 次世代型キャブ



※一部のボタン、カメラ専用モニターを取り外しています



ROPS/FOPS キャブ

万が一の車両の転落や、落下物からオペレータを頑強に保護します

ROPS: Roll-over Protective Structure
(ISO 3471) 転倒時運転者保護構造

FOPS: Falling Objects Protective Structure
(ISO 3449) 落下物保護構造



新しいモニタリングシステム

- 1 新型のフロントディスプレイは、整然と並び一目でわかる計器類とデジタル部分で構成され、ペイロード画面も表示
- 2 リアカメラ、360度カメラ表示用モニター
- 3 Cat® アドバンスドペイロード用モニター
- 4 総合ディスプレイ

モニタ画面



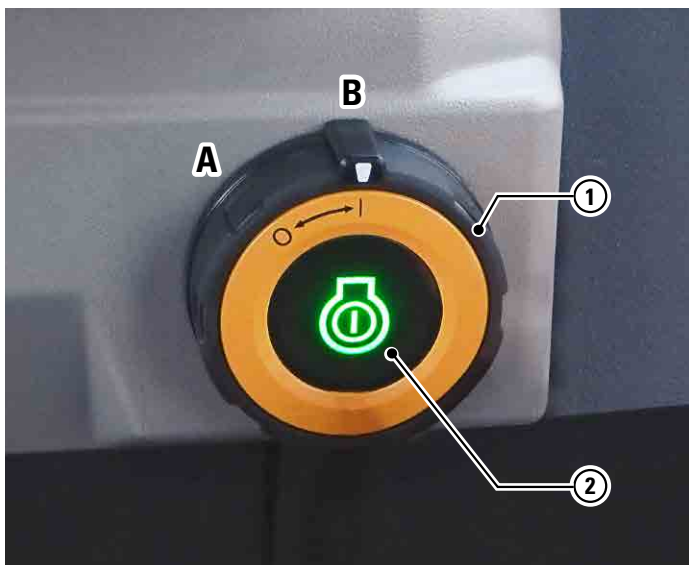
- | | | |
|----------------|-------------|--------------|
| 1 作動油温度 | 6 燃料残量 | 11 トラック積載量 |
| 2 エンジン冷却水温度 | 7 速度段/ギア | 12 目標トラック積載量 |
| 3 エンジン回転数 | 8 自動変速モード | 13 バケット積載量 |
| 4 トランスミッション油温度 | 9 時計 | 14 走行速度 |
| 5 尿素水残量 | 10 トラック積込台数 | 15 アワメータ |



フロントディスプレイ

一部のペイロード画面も表示されるので、積載量の確認だけであれば、ピラーの専用ディスプレイを見なくてもよく、正面を向いて作業に集中することができます

プッシュボタン式エンジンスタート



画期的なプッシュボタン式エンジンスタートを採用
キーが不要でセキュリティ面が強化されました
ボタンは①始動リング ②始動ボタンで構成し
取り扱いも簡単です

モニタ起動

AからBの位置まで
リングを回す



セキュリティ認証

パスコード入力
またはキーFOB



エンジン始動

始動ボタンを押し、
エンジン始動



オペレータID

各種設定をオペレータIDに紐づけて管理するので、
利便性向上、セキュリティ強化、作業効率向上に繋がります



- オペレータ名
- セキュリティ認証方法

各種車両設定

- キックアウト位置
- 前進/後進最高速度
- ライドコントロール起動速度設定など
40以上の項目の設定が可能

- 最後にログイン(車両を使用)した時の設定が保存されており、再設定の手間が省けるので効率的です
- オペレータ好みの設定が保存できるので便利です
- 現場ごとや、作業ごとに異なるIDを使用すれば便利です

選べるセキュリティ認証

セキュリティ認証はなじみ深いパスコード入力
または、キーFOBで認証を行うことができます

1 パスコード認証



オペレータIDに登録した
パスコードを入力

日常生活で使用経験が多い
暗証番号入力方式

2 Bluetooth® キー FOB

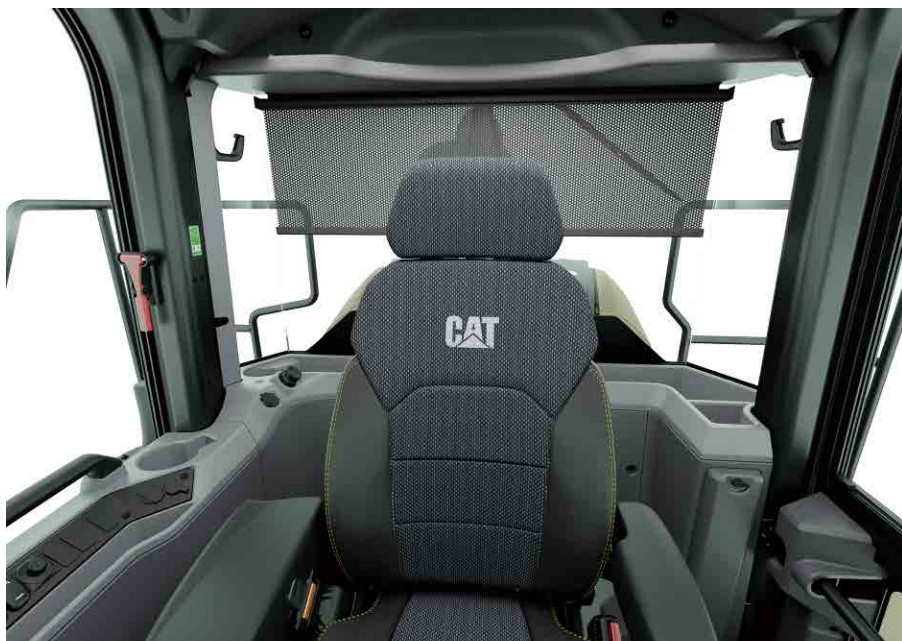


Bluetooth®に接続し
専用キーで認証

認証まで手間が少なく
セキュリティも高い方法

キーFOBは部品オプションになります

エアサスペンションシートを標準装備



エアサスペンションシート



※画像はプレミアムシート（オプション）です
フルオープン・アームレスト

新型の「Next Genシート」は多くの箇所を調節でき、あらゆるオペレータの体型にフィットさせることができるのでベストポジションで作業を行えます

また、エアサスペンションシートなので、クッション性に優れ、オペレータへの負担を軽減することができるので長時間作業での疲労を低減させます

アームレストが90度リフトできるので、オペレータはフルオープン状態で安全、かつ容易に乗降できます

※ステアリングシステムもロック状態

広々とした快適空間

レバーステアリングの場合、キャブ内フロントに丸ハンドルが無いためダッシュボードがスッキリとしており、また、足元のスペースも広いので、オペレータはリラックスした状態で作業することができます



充実の装備品



AM/FMラジオ (Bluetooth®対応)



オートエアコン



USB/AUXポートとカップホルダ



フロントサンスクリーン



コントロール

EHレバーステアリング 左側

レバーステアリングを標準装備し、直観的に、軽々と操作することができるため、操作性が向上し、疲労も低減します

また、FNRスイッチによりワンタッチで前後進・中立を切替えられるのでとても便利です

EH作業機コントロール 右側

座席右側コンソールに配置され、振動の影響を受けにくく、操作性が安定します

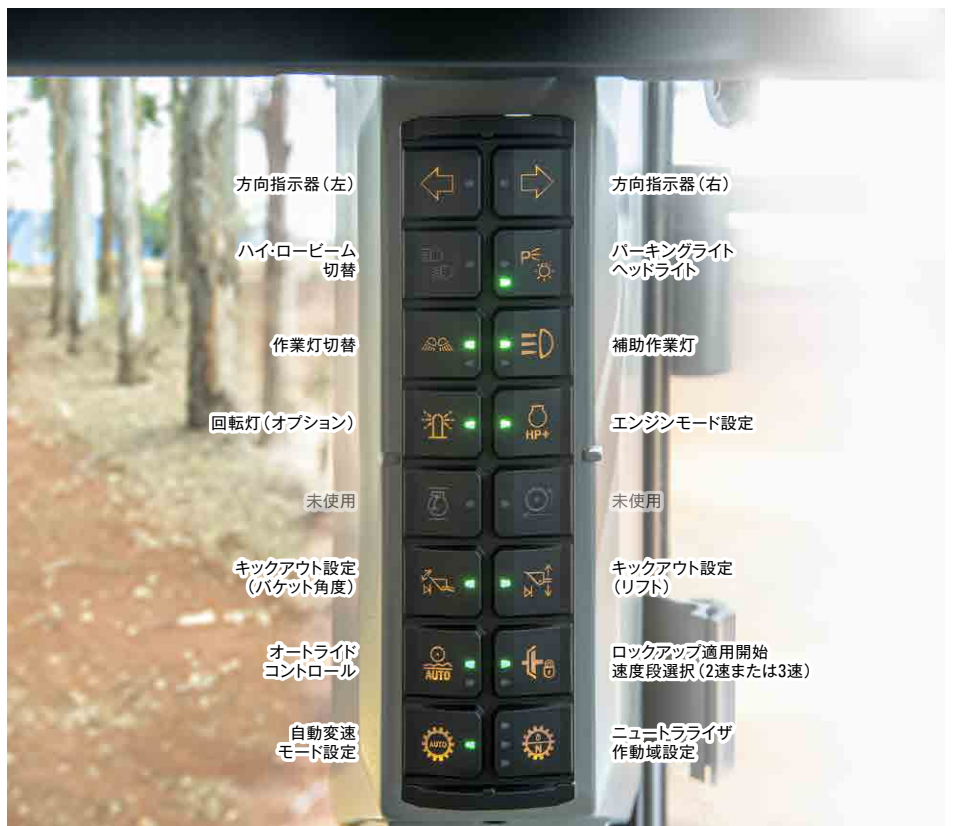
軽々と操作でき、EHならではの、レスポンスに優れた操作性を発揮できます



整然と配置されたスイッチ類

先進的なNext Generationシリーズの車両ですが、分かりやすく、整然とスイッチ類が配置されています

また、ピラーにスイッチパネルが設置されており、ピラーに重なっているので、視認性を低下させません



集中制御ブレーキシステム (IBS)

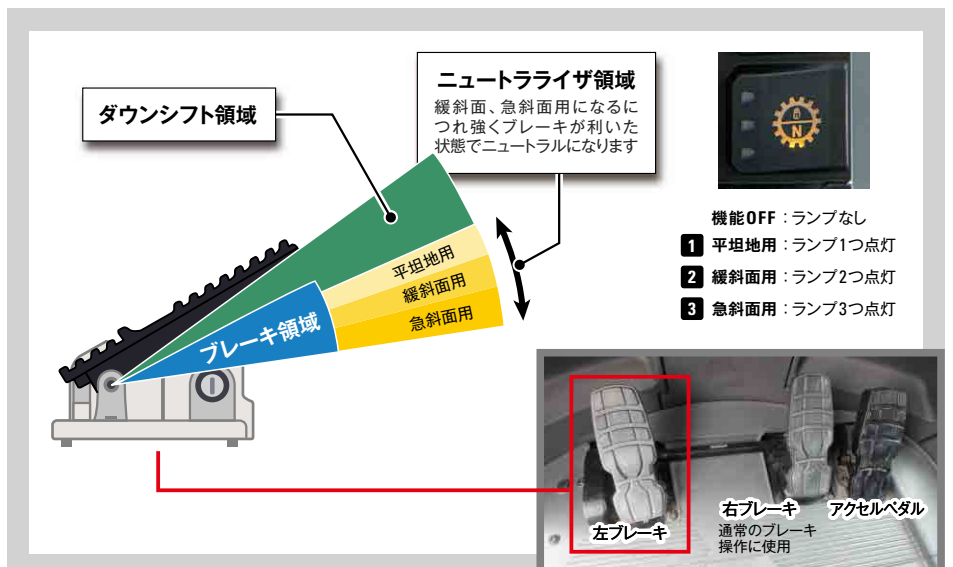
左ブレーキを踏むとダウンシフトが開始され、積極的にダウンシフトが行われます

ブレーキによる減速の前に十分に車速を落とすことでブレーキへの負荷が低減され、ブレーキの摩耗、熱の発生を抑制することができます

ニュートライザ

左ブレーキのみを作動させ、ブレーキ作動後にニュートラルになる機能です

ニュートラルへのシフトにより、サービスブレーキの摩擦やアクスルやパワートレインコンポーネントへの負荷を低減し、アクスル油温度の上昇を抑制します



- 機能OFF：ランプなし
- 1 平坦地用：ランプ1つ点灯
 - 2 緩斜面用：ランプ2つ点灯
 - 3 急斜面用：ランプ3つ点灯

イージーメンテナンス

グラウンドレベルメンテナンス

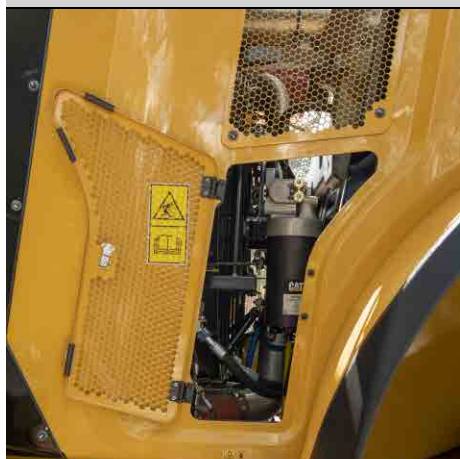
日常点検や、燃料・尿素水などの補給のみ行う場合は、車両後部横のヒンジ式ドアからアクセスできるのでチルトアップしなくてもよい構造となっています

尿素水補給口

サービスマイト

エンジンフード内をライトで照らすことができるので、夜間での作業に対応します

ウォーターセパレータ付燃料フィルタ



燃料のろ過システムは、プライマリ燃料フィルタとセカンダリ燃料フィルタから構成し、ウォーターセパレータ付プライマリ燃料フィルタは、燃料に混入した不純物（水、ゴミ）を取り除き、燃料起因のトラブルを防止します

長寿命のオイル&フィルタ

	交換間隔
■ エンジンオイル	1,000時間
■ エンジンオイルフィルタ	1,000時間
■ 燃料フィルタ	1,000時間
■ 作動油リターンフィルタ	2,000時間

リモート集中給脂



作業機のピン接合部分など給脂しにくい箇所は集中配置しているので、メンテナンス時間の短縮につながります

自動給脂システム

オプション



自動給脂システムは車両のシステムと統合しており、給脂間隔もモニターで設定可能です

作業機の各ピン、ステアリングシリンダピン、アーティキュレーションヒッチ、アクスルオシレーティングベアリング等を自動で給脂することができます

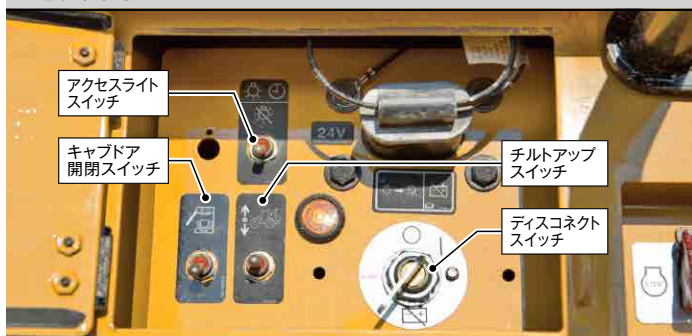
◀ グリスタックはキャブ左側プラットフォームに設置

チルトアップ式エンジンフード

キャブ下のボタンを操作するだけで、エンジンフードをチルトアップするので、各コンポーネント類へのアクセスが非常に容易でメンテナンス作業の効率が向上します



電気系統サービスセンタ



キャブのすぐ下に電気系統のサービスセンタを配置
バッテリー上がりを防ぎ、電気を遮断し安全を確保するディスコネクスイッチや、チルトアップのスイッチも配備

スイング式クーリングコア



車両後部にクーリングコアを集中させ、スイング式の作動油クーラ、A/Cコンデンサを手前に開くと、後ろのラジエータやアフタークーラなどに簡単にアクセスすることができます

リバースファン (バリアブルピッチファン)

コアの清掃の省力化

オプション

クーリングコアの後ろに位置するファンの羽の角度を変えて風向きを吸い込み(冷却)から吐き出しへと変えることにより、クーリングコアに付着したゴミや埃を取り除きます



非常停止スイッチ



エンジンの回転中に、エンジン非常停止スイッチを「停止」位置にするとエンジンが停止します
また、電気系統サービスセンタのすぐ隣りに設置しており、グラウンドレベルで非常時に即時エンジンを停止することができます

車両管理をクラウドサービスでサポート

MY.CAT.COM

MY.CAT.COMは車両情報管理システムです

お客様の保有車両情報を一元化し、パソコン・タブレット・スマートフォンでいつでも確認することができます。「見える化」によって日々の保有機械管理をサポートし、効率的な稼働に貢献します

当該クラウドシステムご利用には申込手続きが必要となります
Cat®車両をご購入・保有のお客様はどなたでも利用可能です

予防メンテナンスでは、日本キャタピラーでの定期メンテナンスの他お客様自身で行なうメンテナンスも登録することができます
メンテナンスやサービス情報を把握することで配車などのスケジュールを組みやすく休車防止にもなり、現場での効率的な使用や車両配備に役立ちます

PL※ 搭載車は1日1回、車両リストや予防メンテナンスの他、アラート（警告など）情報や稼働情報を自動で更新します

※ PL (Product Link™) は携帯/衛星通信網を使った車両遠隔管理システムです

お客様

保有車両リスト

- ▶ 車両リスト一覧管理
- ▶ シリアル/サービスメーター通信状況把握

メンテナンス履歴

- ▶ 過去修理情報
- ▶ メンテナンス・オイル交換実施履歴

予防メンテナンス

- ▶ 定期メンテナンス実施時期確認
- ▶ 自己メンテナンス登録

リコール等サービス情報

- ▶ 販売店より発信される特定サービス情報確認

(((MY.CAT.COM による情報共有)))

アラート情報

- ▶ 車両に発生した即時警告情報等確認

サービスメータ情報

- ▶ 1日稼働時間情報
- ▶ 累積稼働時間情報

位置情報

- ▶ 車両稼働位置確認

燃費情報

- ▶ 1日平均燃費情報
- ▶ 累積稼働燃費情報
- ▶ アイドリング時間情報

PL ※ 搭載車両が確認できる情報

日本キャタピラー

生産管理

- ▶ 車両サイクルタイム確認
- ▶ 積み込みサイクル状況

施工管理

- ICT利用による
- ▶ 施工管理
 - ▶ 施工履歴情報
 - ▶ 出来形管理

安全管理

- ▶ 車両運行・稼働情報
- ▶ 車両接近情報
- ▶ シートベルト着用情報

VisionLink® Unified Suite

VisionLink®は現場総合管理システムです

機械の稼働状況や運転情報だけでなく、施工管理や生産性・安全性の情報を確認・管理することができます。施工現場とお客様オフィスをリアルタイムに結び、行き届いたマネジメントをサポートします

※ VisionLink®のご利用は別途、日本キャタピラーとのCSAサービス契約が必要となります。詳しくは最寄の営業所までお問い合わせください

安心のサポート体制

無償販売店新車延長保証プログラム

無償販売店新車延長保証プログラムは、延長保証とメンテナンスをセットにした保証プログラムです
このプログラムは特定特殊自動車排出ガス2014年基準適合車を新車ご購入時にご提供します

〈無償〉 販売店新車延長保証

3年又は5,000時間どちらか先に達した期間で、パワートレイン+ハイドロリック+テクノロジーの保証対象に材料又は欠陥品が認められた場合は無償で交換・修理します

※取扱説明書等に示す正しい運転取扱い・点検整備が行われていなかった場合、純正部品並びにキャタピラー社が推奨する油脂類を使用していなかった場合には保証されません

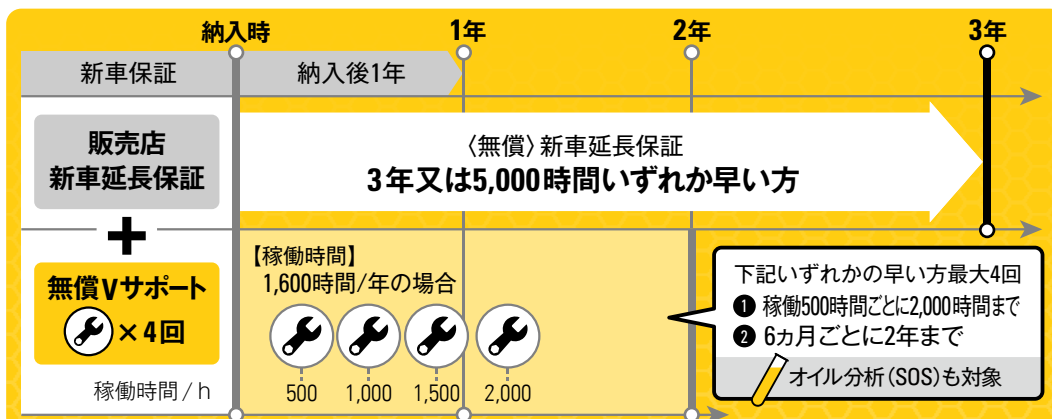
〈無償メンテナンス〉

エンジンオイル、エンジンオイルフィルタ、燃料フィルタ、オイル分析 (SOS) を次のいずれか早い方で最大4回交換します

- 1 稼働500時間ごとに2,000時間まで
- 2 6ヵ月ごとに2年まで

※稼働が2,000時間未満であっても納車後、最長2年で終了となります ※レンタル用に購入された建設機械にはご提供できません

無償 V サポート



〈有償延長保証〉

お客様のニーズに合わせて保証期間を延長できます

最長5年又は10,000時間どちらか先に達した期間内で、保証対象に材料又は欠陥品が認められた場合は無償で交換・修理します

- パワートレイン
- パワートレイン+ハイドロリック
- パワートレイン+ハイドロリック+テクノロジー
- プレミア

の4つ保証範囲から選べます

※機種によって加入できるプラン・期間・金額が異なります

* 詳しくはお近くの営業所にお問い合わせ下さい

仕様パターン

○標準装備 ●オプション ×選択不可もしくは設定なし

		966		972	
		標準	碎石	標準	碎石
ステアリング	HMU丸ハンドル	○	○	○	○
	EHレバーステアリング	●	●	●	●
セカンダリステアリング		●	●	●	●
リンケージ	標準リンケージ	●	●	●	●
	ハイリフトリンケージ	○	○	○	○
バケット	4.2㎡ マテリアルハンドリングバケット	○	○	×	×
	4.4㎡ マテリアルハンドリングバケット	●	●	×	×
	4.6㎡ マテリアルハンドリングバケット	○	○	×	×
	4.8㎡ マテリアルハンドリングバケット 966は強化型で要改造車検	○	○	●	●
	5.0㎡ マテリアルハンドリングバケット 要改造車検	×	×	○	○
	3.4㎡ ロックバケット 車検取得不可	○	○	×	×
	4.0㎡ ロックバケット 車検取得不可	×	×	○	○
バケット関連品	ボルトオンカッティングエッジ (BOCE)	●	●	●	●
	コーナーガード BOCE装着時のみ可	○	●	○	●
	サイドバンプロテクタ (ロックバケット用)	○	○	○	○
	Cat® アドバンシスアダプタ ロックバケット、その他一部バケット装着不可	○	○	○	○
	Cat® アドバンシス各種チップ Cat® アドバンシスアダプタ要選択	○	○	○	○
給脂	自動給脂システム	○	○	○	○
フェンダー	フロント&リアエクステンションフェンダー	●	●	●	●
	ローディングフェンダー	○	○	○	○
タイヤ	ラジアル 26.5R25 (L-3)	●	●	●	●
	ラジアル 26.5R25 (L-4) 要改造車検	○	○	○	○
	ラジアル 26.5R25 (L-5) 車検取得不可	○	○	○	○
	バイアス 26.5-25 20PR (L-3)	○	○	○	○
カウンタウエイト	標準	●	●	●	●
	増量	○	○	○	○
デフロック (フロント/リア)	マニュアル/デフロックなし	●	●	●	●
	オート/オート	○	○	○	○
アクスルオイルクーラ		○	●	○	●
バルブ	2バルブ	●	●	●	●
	3バルブ または 4バルブ ※ハイリフトリンケージは装着不可	○	○	○	○
ライドコントロール		●	●	●	●
キーFOBおよびBluetooth® レシーバ		○	○	○	○
ライト	ハロゲン	●	●	●	●
	LED	○	○	○	○
キャブ	コンフォートキャブ シート: エアサス/手動調節/布製	○	○	○	○
	デラックスキャブ ミラー: 熱線入り電動ミラー シート: エアサス/手動調節/ヒータ/布製	●	●	●	●
	プレミアムキャブ ミラー: 熱線入り電動ミラー シート: エアサス/電動調節/ヒータ&クーラ/皮革製	○	○	○	○
作業機コントロール	レバー (2V用2本レバー)	●	●	●	●
	ジョイスティック	○	○	○	○
ファン	リバースファン (バリアブルピッチファン)	○	○	○	○
安全関連装備	サービスマイル/アクセスライト ※車検取得不可	●	●	●	●
	後退灯 (白色ストロボライト) ※車検取得不可	●	●	●	●
	シートベルト装着表示灯 ※車検取得不可	○	●	○	●
	車両後方障害物検知システム	○	●	○	●
	360度カメラ&専用モニタ	●	●	●	●
ガード	チルトシリンダガード	●	●	●	●
	パワートレインガード	○	●	○	●
テクノロジー	アドバンスドベイロード	●	●	●	●
	オートディグ	●	●	●	●

装備品

標準装備品

- C9.3Bディーゼルエンジン
- Cat®クリーンエミッションモジュール - DOC / DPF / 尿素SCRシステム
- 電動プライミングポンプ
- ウォーターセパレータ付燃料フィルタ
- セカンダリ燃料フィルタ
- フルオートマチックブレータリ式パワーシフトトランスミッション
- 油圧駆動デマンドファン
- ロードセンシング油圧システム (作業機油圧システム)
- 大容量オルタネータ
- 電動スタータ
- メンテナンスフリーバッテリー
- ディスコネクトスイッチ
- バックアップアラーム
- 標準給脂システム
- 標準ブレクリーナ (レインキャップ)
- クーリングコア (6フィン / インチ)
- 不凍クーラント (-34°C)
- 密閉加圧式キャブ
- 曲面フロントガラス (ラミネートガラス)
- 熱線入り電動ミラー
- 間欠ワイパー
- スライド式窓 (左右)
- サンスクリーン (フロント&リア)
- エアサスペンションシート
- 360度カメラ (専用モニター付)
- エンジン始動プッシュボタン
- タッチスクリーン式モニター
- オートエアコン
- AM / FMラジオ (Bluetooth®対応)
- USB / AUXポート
- 12V電源ソケット
- 16スイッチパネル (ピラーに設置)
- カップホルダ
- コートフック
- 巻取式シートベルト
- プロダクトリンク

オプション

- 寒冷地仕様バッテリー
- タービン式ブレクリーナ
- クーリングコア (9フィン / インチ)
- 不凍クーラント (-50°C)
- 高速エンジンオイル交換システム
- 黄色回転灯
- クイックカブラ
- フロントガラス (フラットガラス)
- フロントガード

マテリアルハンドリングバケット

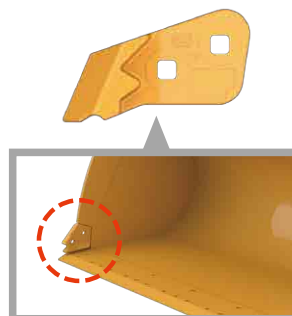


ロックバケット オプション



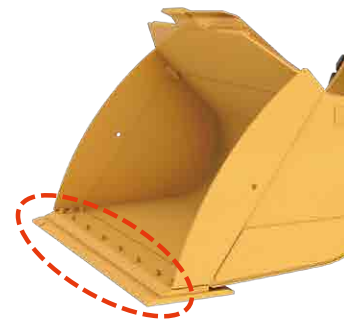
ロックバケットは原石の掘削、積み込み作業用のバケットです。各部が強化されています。

コーナーガード オプション



※バケットの画像はコーナーガード未装着です

ボルトオンカッティングエッジ



Cat® Advansys チップ オプション

オプション

※ご使用頂くにはCat® Advansys アダプタが必要です

ヘビーアブレーション

多く摩耗材が使われており、過酷な現場でもチップの先端をシャープな状態に維持します

ヘビーデューティー

多く摩耗材がチップのボディに使われており、貫入性が増します

耐摩耗性

貫入力



ヘビーアブレーション



ヘビーデューティー

標準的



ゼネラルデューティー



ライト(フロント)



ライト(リア)



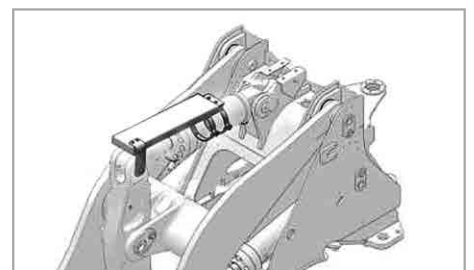
オプション 丸ハンドル



オプション ジョイスティック



オプション ローディングフェンダー



チルトシリンダーガード

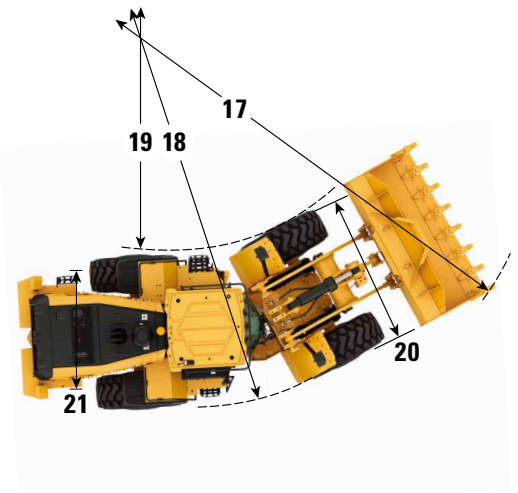
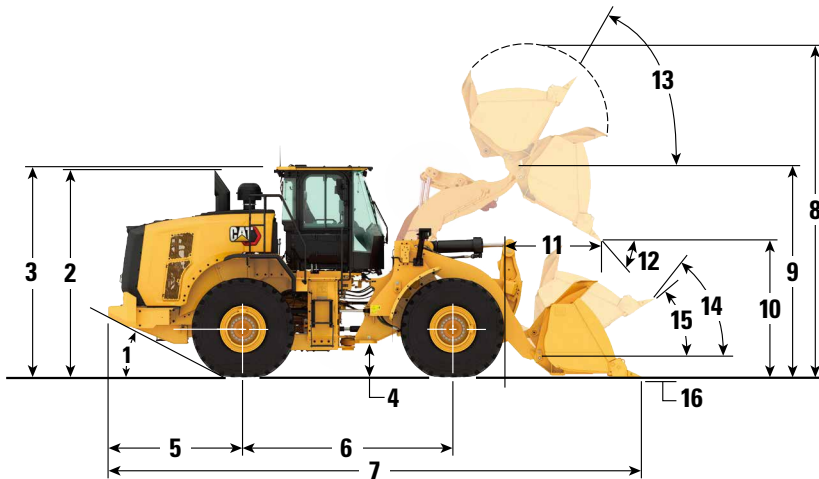
仕様値

		966	972
標準バケット容量	(m ³)	4.4	4.8
運転質量	(kg)	23,247	24,970
常用荷重	(kg)	7,800	8,650
タイヤサイズ		26.5R25 (L-3) ラジアル	
エンジン	名称	Cat® C9.3Bディーゼルエンジン	
	形式	4サイクル水冷直列直噴式 ターボチャージャー付、アフタークーラ付	
	総行程容積(排気量) (ℓ)	9.3	
	定格出力(ネット)* (kW/min ⁻¹)	219/2,200	221/2,200
トランスミッション	形式	電子制御フルオートマチック プラネタリ式パワーシフト	
	速度段	前進4段/後進4段	
	トルクコンバータ形式	3要素1段2相	
走行速度	F1/R1 (km/h)	6.7/7.3	6.7/7.3
	F2/R2 (km/h)	13.5/14.8	13.4/14.8
	F3/R3 (km/h)	24.2/26.6	24.1/26.6
	F4/R4 (km/h)	39.5/39.5	39.5/39.5

		966	972	
ステアリング	形式	フレーム屈折式パワーシフト		
	操向角度 (度)	左右37		
ブレーキ装置	サービスペーキ形式	4輪制動全油圧式湿式多板ディスク		
	駐車ブレーキ形式	推進軸制動キャリアディスク式		
作業性能	最大掘起力 (kN)	172	196	
	バケット	上昇時間 (秒)	6.1	6.1
		下降時間 (秒)	2.6	3.1
		ダンブ時間 (秒)	1.4	1.5
油圧装置	ポンプ形式	可変容量ピストン形		
	ポンプ吐出量 (ℓ/min)	373		
	最大セット圧 (MPa)	31.0		
容量	燃料タンク(軽油) (ℓ)	303		
	尿素水タンク (ℓ)	26		
	エンジンオイルパン (ℓ)	23		
	作動油タンク (ℓ)	114		

*エンジン定格出力(ネット)は、エンジンがファン、エアクリーナ、排ガス後処理装置
オルタネータを装着した状態でエンジンフライホイールにて利用可能な数値です

寸法/作業範囲



No.	項目	単位	966		972	
			標準リフト	ハイリフト	標準リフト	ハイリフト
1	デバーチャアングル	(度)	27		27	
2	排気管までの高さ	(mm)	3,531		3,527	
3	全高	(mm)	3,593		3,589	
4	最低地上高	(mm)	424		420	
5	リアオーバーハング	(mm)	2,290	2,458	2,458	
6	ホイールベース	(mm)	3,550		3,550	
7	全長	(mm)	8,863	9,532	9,264	9,600
8	作業時最大高さ	(mm)	5,942	6,500	6,198	6,534
9	バケットヒンジピン高さ	(mm)	4,245	4,804	4,464	4,800
10	ダンピングクリアランス	(mm)	2,931	3,489	3,104	3,439
11	ダンピングリーチ	(mm)	1,270	1,246	1,269	1,292
12	ダンブ角度	(度)	49	48	48	
13	チルトバック角度	(度)	62	71	56	71
14		(度)	50	49	49	
15		バケット地上時	(度)	39	37	39
16	掘削深さ	(mm)	114	89	98	93
17	最小旋回半径	バケット外側、キャリアポジション時	7,514		7,607	
18		最外輪外側	6,810		6,811	
19		内輪内側	3,799		3,800	
20	全幅	車体	2,978		2,988	
		バケット(BOCE装着時)	3,220		3,220	
21	トレッド(前輪、後輪ともに同じ)	(mm)	2,230		2,230	



www.nipponcat.co.jp

日本キャタピラー合同会社

(カタログお問合せ先)

〒100-0011 東京都千代田区内幸町1-2-2 日比谷ダイビル18階

TEL. 03-5251-9555 FAX. 03-5251-9560

(HPアドレス) <https://www.nipponcat.co.jp>

労働安全衛生法に基づき機体質量3トン未満の建設機械の運転には事業者が実施する「小型車両系建設機械運転技能特別教育」の修了が必要です。

労働安全衛生法に基づき機体質量3トン以上の「車両系建設機械(整地・運搬・積込・掘削用)および(解体用)の運転」には登録教習機関の行う「技能講習」を受講し修了証の取得が必要です。

掲載写真はカタログ用にポーズをつけて撮影したものです。機械から離れる場合は必ず作業装置を設置させてください。掲載写真は標準仕様と一部異なる場合があります。仕様は予告なく変更することがあります。

© 2021 Caterpillar. All Rights Reserved.
CAT®, CATERPILLAR, LET'S DO THE WORK, それらの各ロゴ, "Caterpillar Corporate Yellow", "Power Edge", およびCat "Modern Hex" のトレードドレスは、本書に記載されている企業および製品の識別情報と同様に、Caterpillar社の商標であり、許可なく使用することはできません。



本機をご使用の際は、必ず取扱説明書をよく読み、正しくお使いください
故障や事故などを防止するため、定期点検を必ず行ってください

お問い合わせ先